

図書館だより

高屋中学校図書館 令和5年1月号

高屋中学校図書館の本から 図書委員おすすめの本 (1年生図書委員)

『54字の百物語 意味がわかるとゾクゾクする超短編小説』

氏田雄介/編著 PHP研究所 2020



913
ゴ

★おすすめポイント★
予想もしない展開に驚くところ
★こんな人におすすめ★
本をあまり読まない人

54字で書かれたいろいろな物語があり、驚いてしまうような内容のものがたくさんあります。ふだんあまり本を読まない人でも、短い文章なのでおもしろいと感じることがあると思います。ぜひ、図書室で借りて読んでみてください。

『危険生物 外来生物 大図鑑』 今泉忠明/監修 あかね書房 2017



480
キ

★おすすめポイント★
身のまわりの生物が危険な生物だったり、害悪な生物だったり。この本を読むと生物の見方が変わる。
★こんな人におすすめ★
理科全般で、特に生物に興味がある人

この本には、よく見る生物からあまり見ない生物まで、たくさん紹介されています。海や山に行ったときに見たことがある生物でも、実際は毒を持っていたり、在来生物を食べたりするなど、意外なことがわかります。また、その生物がどうやって日本に来たのか、どうやって増えていくかなども説明されているので、みなさんもぜひ読んでみてください。

ヨミヨルとヨンドルより

わたしは、しもばしらの本をおすすめしたい。しもばしらって知ってる？ 冬の寒い朝に見かけるよ。しもばしらの作り方で紹介されていて、びっくり。今度作ってみようかな。

『しもばしら』

細島雅代/写真 岩崎書店 2014



451
ホ

南極と北極の違いって知ってた？ この本を読むとわかるよ。南極観測越冬隊に参加したことがある、女性新聞記者が書いたんだ。Q&A形式でおもしろく読めるよ。

展示コーナー「雪・氷」



動物たちの
写真がか
わいい！

寒さ本番！展示コーナーのテーマは「雪・氷」だよ。このコーナーからおすすめの本を紹介するね。まずは、雪の結晶がどのように生まれるのかななどを、美しい写真とイラストで説明しているこの本をどうぞ。

『雪の結晶ノート』

マーク・カッシーノ/作 あすなる書房 2009



451
ユ

地球温暖化が冬に与える影響なども、わかりやすく説明されているよ。

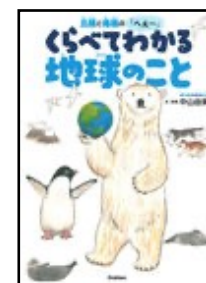
『これは異常気象なのか？ 3 猛暑・寒波・豪雪』 保坂直紀/著 岩崎書店 2016



451
ホ
3

『北極と南極の「へえ〜」くらべてわかる地球のこと』

中山由美/文・写真 学研プラス 2019



402
ナ

